

「あいち子ども・若者育成計画 2022」（案）に対する御意見の概要と県の考え方

番号	項目	意見の概要	県の考え方
1	計画全体	視覚情報のユニバーサルデザインに配慮してほしい。	御意見ありがとうございます。 ユニバーサルデザインに配慮した印刷物等の作成に努めてまいります。
2	基本理念	「基本理念」について、「自立」「活躍」できなくとも社会に存在できることの方が大切だと思う。	御意見ありがとうございます。 全ての子ども・若者が社会の一員として尊重されることは、根源的なことであり、大変重要です。その上で、「基本理念」として掲げるのは、健やかに成長していただき、さらにはそれぞれ「自立」や「活躍」をしていただけるような社会づくりをめざしていくものです。
3	施策目標 I 全ての子ども・若者の健やかな育成	男子が髪の毛を長く伸ばし、好きなように髪を結ったり、スカートを履いたりすることで、人の心を癒したり、好印象を与えることを理解し、お互いに協力して社会づくりをすることが大切だと思う。男女問わずそのファッションスタイルに関心を持って理解し合うことが大切だと思う。	御意見ありがとうございます。 いただいた御意見は、今後の施策を進めていく上での参考とさせていただきます。
4	施策目標 IV	「施策目標 IV」について、「担う」は少し強制的に感じるので、「つくる」としたらどうか。 「未来をつくる愛知の子ども～」のほうがグローバルに活躍する印象になる。	御意見ありがとうございます。 御意見のとおり、強制的と捉えられることのないよう、施策目標 IV を「未来をつくる子ども・若者の活躍促進」とします。
5	現状と課題	第 2 章「貧困の連鎖」について、経済状況が苦しくなると関係性の貧困にも陥り、ディスエンパワメントの状態になることを記載する必要があると思う。	御意見ありがとうございます。 御意見のとおり、「貧困の連鎖」の一つの問題として、関係性が貧困に陥り、ディスエンパワメントの状態になることが挙げられていると承知しています。この計画では、子どもの貧困の現状に着目し記載しているため、「子どもの貧困」と項目を改めます。

6	推進施策Ⅰ－1 健やかな体と豊かな心の育成	(2)「健やかな体と豊かな心の育成」において、福祉教育が有用と思うので追記できないか。	御意見ありがとうございます。 御意見のとおり、健やかな体と豊かな心の育成において、福祉教育は有用です。主な施策の「豊かな心と規範意識の醸成」の中で、「家庭、地域、学校などが連携し、世代を超えた交流、様々な体験活動を行い、子ども・若者の豊かな心と規範意識を醸成します」との記載の中で網羅しております。
7	推進施策Ⅰ－3 若者の職業的自立、就労等支援	(2)「就労等支援の充実」の「主な施策」の中の障害者の一般就労の支援に向けては、事業者への障害者理解促進や障害者雇用に関する制度等の周知啓発を同時に行う必要がある。	御意見ありがとうございます。 御意見を踏まえ、障害のある人の一般就労に向けた支援についての記述に、「事業者向け研修会を実施する等、障害者に対する理解促進や障害者雇用に関する制度等の周知に取り組む」と追記します。
8	推進施策Ⅱ－2 困難な状況に応じた取組	(4)「自殺対策」について、社会的な取組で防いでいくのだということの啓発が大事だと思う。	御意見ありがとうございます。 御意見のとおり、自殺はその多くが社会的な取組によって防ぐことができる問題です。自殺を防ぐための普及啓発等、総合的な自殺対策の推進に努めてまいります。
9	推進施策Ⅱ－2 困難な状況に応じた取組	(5)「障害等のある子ども・若者の支援」の「取組の視点」について、特別支援教育の推進は、インクルーシブ教育システムを構築するためにしているので併記すると意味がない。	御意見ありがとうございます。 御意見のとおり、「インクルーシブ教育システムを構築するため、特別支援教育を着実に推進していくことが求められています。」と記述を修正します。
10	推進施策Ⅱ－2 困難な状況に応じた取組	(9)「性的少数者に対する理解促進」の「取組の視点」について、今後に向けてSOGIの考え方を記載するほうがよい。	御意見ありがとうございます。 いただいた御意見は、今後の施策を進めていく上での参考とさせていただきます。
11	推進施策Ⅲ－1 家庭、学校、地域全体で子ども・若者を育む環境づくり	コミュニティ・スクールの設置促進を記載すべきだと思う。	御意見ありがとうございます。 御意見を踏まえ、主な施策「学校と地域が連携・協働する体制づくり」の冒頭に、「各地域の実情を踏まえた「コミュニティ・スクール」の導入を推進する他、開かれた学校づくり、信頼される学校づくりを・・・(以下省略)」を追記します。

12	推進施策Ⅲ-3 有害環境への対応	青少年のインターネットモラルについて、スマートフォン等の急激な普及と低年齢化によるトラブルを未然に回避するため、様々な取り組みを実施しておられるが、問題意識が薄い保護者もいることから、強制的に講座を受講するシステムにすることが必要ではないか、また生徒・児童への指導の徹底が必要になっていると感じる。	御意見ありがとうございます。 いただいた御意見は、今後の施策を進めていく上での参考とさせていただきます。
13	子ども・若者への応援メッセージ集	メッセージを送る人選については、過去に困難を抱えていたというエピソードを持つ人にしてほしい。	御意見ありがとうございます。 困難を抱えながらも克服された御経験をお持ちの方など、11名の方々から、御自身の経験を踏まえたメッセージをいただいております。